ROOM MATE

7インチワンセグ付
ポータブルナビゲーション
EB-RM470ON

ナビゲーション
操作説明書

・この取説はナビゲーション専用の操作説明書です。
・製品本体の取扱説明書もお読みいただき内容を御理解願います。
・お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に
保管してくだ さい。

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
●本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。
製品の性能及び機能に関する変更におきましては個別にお知らせすることはありません。
実際の設定及び使用方法が本マニュアルに記載されているものと異なる場合があります。

目　次

1. はじめに ---------- 1
2. 安全上のご注意 ---------- 2
3. ナビゲーションの使い方 ---------- 3
3-1. ナビゲーションの起動と終了 ---------- 4
3-2. 地図画面の説明 ---------- 5
3-3. 現在地の表示 ---------- 6
3-4. 受信状況の確認 ---------- 7
3-5. 地図画面の操作 ---------- 8
3-6. 地図画面から他の画面への移動 ---------- 11
3-7. ナビ走行 ---------- 12
3-8. ルート検索 ---------- 15
3-9. デモ走行 ---------- 16
3-10.ナビ走行中の画面 ---------- 19
3-11.周辺施設検索 ---------- 22
3-12.地点登録 ---------- 23
3-13.自宅登録・自宅へ戻る ---------- 25
3-14.ナビメニュー ---------- 27
3-15.検索モード ---------- 28
3-15-1.住所検索 ---------- 29
3-15-2.施設検索 ---------- 31
3-15-3.電話番号／マップコード検索 ---------- 33
3-15-4.登録地点 ---------- 35
3-15-5.目的地履歴 ---------- 38
3-16.おでかけモード ---------- 39
3-17.設定 ---------- 41
3-18.入力パネルの使い方 ---------- 44
3-19.ウォーキングナビ ---------- 45
3-20.よくある質問 ---------- 48
4. 制限事項 ---------- 49
5. GPSの基礎知識 ---------- 50
6. お問い合わせ先 ---------- 51

1　はじめに

この度は、当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき
正しくお使いください。
本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、
ご了承願います。

GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますＧＰＳによるナビゲーションシステムは、
衛星よりの位置情報を捕捉することで目的地までのナビゲーションを行う
システムです。
従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用して自車位置と
目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様が異なります
のでその特性をご理解の上、ご使用下さいますようお願い致します。

＜＜GPSナビゲーションの特性＞＞

①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が
行われない場合があります。
②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により
頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPU
に負荷が掛かりフリーズする場合もあります。この場合は本機のリセット
ボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境に
よってGPSが衛星を捕捉する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善
された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承願います。
③電源をOFFする際、スリープモードと電源ＯＦＦ（完全に電源を切る）
モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶している
ため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを押してください。
④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来
ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されますと
測位完了しております。ルート設定や各種機能を操作される場合は建物障害
の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対に
おやめください。
⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を
入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなる
ため、数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと
呼びます。）いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの
受信は速くなります。

2.　安全上のご注意

●ご使用の注意

・歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し
直視しないでください。
・ルート案内中でも、常に実際の交通規則、道路状況に従ってください。
・一方通行表示についても実際の交通規制標識・標示などを優先してください。

●その他のご注意

・ＧＰＳ電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）
ではナビゲーション機能は利用できません。また悪天候、車内 の無線機器
、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もありま。
・ＧＰＳ衛星は、米国国防総省により運用されていますが、ＧＰＳ衛星の精度
低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
・サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にカー電源を接続することを
お薦めします。
・液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
・初回の充電は電源ＯＦＦにして充電し、高温、高湿度の場所での充電は
行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも
２週間に１度など定期的な充電をお薦めします。
・地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる
場合がありますのでご注意ください。
・本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性が
あります。登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお薦めします。

●免責事項

・本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、
適切性など何ら法的保障をするものではありません。
・お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、
損害には一切責任を負いかねます。
・お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、
お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

**ナビプログラムや取扱説明書、パッケージ等は予告無く変更する場合が
あります。予めご了承下さい。
また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承願います。**

3. ナビゲーションの使い方

本製品のナビゲーション地図ソフトは内蔵メモリーに搭載されております。
電源ボタンがONされていることを確認して、メインメニューから
「ナビゲーション」ボタンを画面タッチします。

①本体の電源ジャックに、車載用DCアダプターのプラグを接続します。

②電源ボタンを軽く長押しすると、電源が入ります。電源を切る時は、
再度電源ボタンを長押しします。

③操作は、各メニューを画面タッチすることにより動作します。

（注意）ダブルタッチを頻繁に繰り返しますと、ＣＰＵに負荷がかかり
システムエラーが発生する場合があります。
（システムエラーからの回復は、本体のリセットボタンで行ってください）

ナビプログラムやマニュアル、パッケージ等は予告無く変更する場合が
あります。予めご了承下さい。
また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承願います。

≪ナビゲーションのご使用の前に≫

ご使用の前に、GPS衛星からの情報を受信できることをご確認ください。
屋外の上空の開けた場所で、現在地を表示するまでお待ちください。
初めて使用する時や前回使用した場所から離れている場合、数十分かかる場合があります。

～受信状況確認する場合～
一度ナビを終了して「設定」→「>」にて次ページ→「GPS情報」をタッチすると受信状況が確認できます。（本体取扱説明書の「GPS情報」参照ください。）

設定の次のページ

3-1．ナビゲーションの起動と終了

ナビゲーションの起動と終了の方法を解説します。

●ナビゲーションの起動

① メインメニューの「地図」ボタンをタッチします。

② 注意事項が記載された画面が表示されますので内容をよくお読みになり、「OK」ボタンをタッチすると地図画面が表示されます。

●ナビゲーションの終了

① 地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチしメニュー画面を表示します。
② メニューの右下の「終了」ボタンをタッチすると、メインメニューに戻りナビゲーション機能は終了します。

3-2．地図画面の説明

地図画面の各機能と見方を解説します。

●地図画面の各ボタンの名称

下記マークが表示されていない場合は画面のどこかをタッチしてください。

●地図の中心マークの違いについて

：十字あり緑色のマーク。GPSを受信してない状態です。

：十字なし赤色のマーク。GPSを受信中です。
地図が現在地を表示していないときは、衛星を捕捉中です。
しばらく待つと、地図が現在地に移動します。

：自車のマーク。GPSを受信中で、方向も取得出来ている状態。
設定モードから矢印マークを変更することが出来ます。

<<傾斜状態 表示>>

走行中の道路の傾斜状態の目安を地図上に表示します。

・走行中の道路が**上り坂状態**　・走行中の道路が**水平状態**　・走行中の道路が**下り坂状態**

※本機能はGPS衛星からの位置情報を基に計算をしています。
3秒前のGPSの高度情報と比較し、上り・下り・平坦の3パターンで表示します。

天気、周囲の建物等の受信環境、 GPS衛星の位置等により数値が変わることがあり実際の情報とは異なる場合があります。走行中の目安としてご利用ください。
トンネル走行時などのGPSが受信できない場合やデモ走行時は、機能しません。

<<トンネルアシスト機能>>

トンネルに入ってGPSが受信できなくなったとき、トンネル進入時の速度を保った状態で、自車の位置が移動し続けます。
ナビ走行中に限って動作する機能で、作動中は本来の位置ではないため、自車のマークの色を変更して区別しています。**（矢印→グレー、それ以外→水色）**

3-3．現在地の表示

GPSを有効（衛星を捕捉）にして、現在地を表示する方法を解説します。

① 地図画面の左下の「現在地」ボタンをタッチします。

現在地　現在地ボタン

現在地の表示は、必ず屋外の見晴らしの良い場所で行ってください。
室内ですと、GPSの電波を受信出来ません。

② 衛星の捕捉が始まります。

衛星の捕捉中を示す画面が中央に現れます。この状態でしばらく待ちますと、現在地へ地図が移動します。

「中止」ボタンをタッチすると、衛星の捕捉を中止します。

③ 衛星が捕捉されると現在地へ地図が移動します。

（注）現在地の表示は、お買い上げ時、または長時間使用していなかった時に行いますと、数分かかる場合があります。
通常使用時でもGPSの電波の受信状況により、数分かかる場合もあります。
予めご了承下さい。

●時刻合わせについて

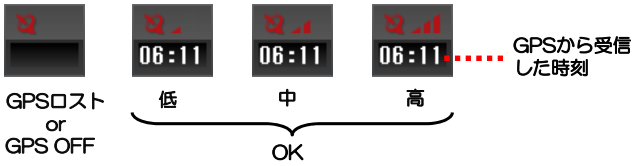
時刻はGPSの電波に含まれている時刻を受信したとき 「衛星配置図」の中に表示されます。お客様自身で、時刻を合わせる必要はありません。

3-4．受信状況の確認

GPS受信状況と衛星配置図の表示方法を解説します。

●地図画面の衛星配置図でGPSの受信状況を確認

（注）「衛星配置図」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。



実際の状況が反映されて表示されるまで、多少のタイムラグがあります。

●「衛星配置図」 ボタンをタッチして衛星配置図を確認

「衛星配置図」 ボタン

衛星配置図画面

黄色や赤色のマークが少ないときは、GPSの受信状況がよくないことを表しています。受信する場所を変えるなどしてみて下さい。
「現在地」ボタンか、「戻る」ボタンで、地図画面へ戻ります。

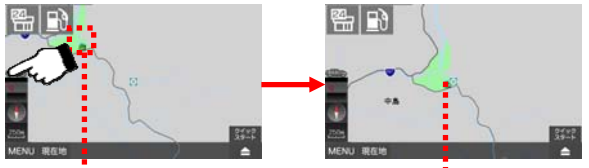
衛星マークの色	衛星受信状況
黄色	○
赤色	△
灰色	×（衛星の位置情報のみ受信）

3-5. 地図画面の操作

地図の移動、拡大縮小、ビュー変更の方法を解説します。

●地図の移動

地図の上をタッチすると、タッチした場所が中心になるように地図が移動します。


ここをタッチ　　タッチした場所が中心にきます

（注）タッチパネル上で指で滑らせて、地図移動する形式ではありません。

●地図の拡大縮小

① 地図画面の左の「縮尺変更」ボタンをタッチします。
（注）「縮尺変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「縮尺変更」ボタン
中の数字は現在の尺度を表しています。

② 縮尺パネルから表示したい縮尺をタッチします。

縮尺パネルは一定時間経つと、自動的に隠れます。

●地図表示の変更

地図の表示方法を「平面（2種類）」、「立体」表示に切り替えます。

（注）「地図表示変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「地図表示変更」ボタンをタッチする毎、地図の表示が切り替わります。

平面（ヘッドアップ）

自車の進行方向が上に固定され、地図が回転します。
赤い針が指す方向が北。

平面（ヘッドアップ）

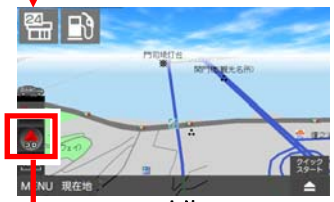
平面（ノースアップ）

地図の北方向が上に固定され、自車が回転します。

平面（ノースアップ）

立体

平面（ヘッドアップ）の立体表示です。
空から見下ろしたように見える3D的な地図表示。



立体

平面（ヘッドアップ）表示へ戻る

●ガソリンスタンドの表示

「ガソリンスタンド表示」ボタンをタッチすると、地図上にガソリンスタンドのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「ガソリンスタンド表示」ボタン

●コンビニの表示

「コンビニ表示」ボタンをタッチすると、地図上にコンビニのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

（注）「コンビニ表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「コンビニ表示」ボタン

（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンと「コンビニ表示」ボタンは、縮尺が「2.5km」以上のときは表示されません。
（ガソリンスタンド、コンビニのデータは地図作成時のものです。）

3-6. 地図画面から他の画面への移動

地図画面からナビメニュー画面へ移動する方法を解説します。

●ナビメニュー画面へ移動する

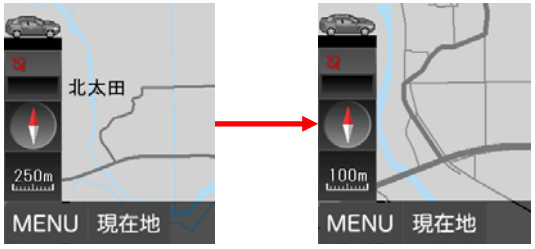
地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチすると、ナビメニュー画面へ移動します。

「MENU」ボタン

地図画面　　ナビメニュー画面

（注）地図画面の道路が途切れている場合について

地図を縮小していくと、画面に表示するエリアが大きくなり、情報量が増加していきます。それによって処理が遅くなることを防ぐ為に、地図上に表示する情報量を減らすことで、対応しています。
地図上で、道路が途中でなくなっている場合、実際にはその先も道路は存在しており、地図を拡大していくことで表示されます。



縮尺250m　　縮尺100m

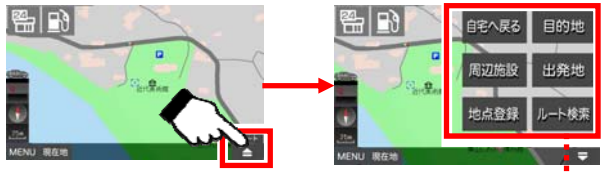
3-7. ナビ走行

実際にナビを行う方法を解説します。

① 地図を移動して行きたい場所を中心にします。

行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

② 右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



ナビ用パネル

③「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。

ゴールの旗　　ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。

④ ルート検索パネルの「ナビ走行」にタッチし、チェックを付けて
ルートの種類を選んでタッチします。

ルートの種類を選択

（注）目的地を設定済みならば、ナビ用パネル
「ルート検索」ボタンをタッチすれば
ルート検索パネル画面になります。

●ルート検索パネルについて

ルートの種類

実際の「ナビ走行」か、
テストの「デモ走行」か選択

【ルートの種類について】

- 推奨ルート　：ナビが自動的に最適なルートを選択します。
- 一般道路優先：有料道路を避けて、一般道路を優先したルートを選択します。ただし目的地までの道のりが長距離のときは、有料道路を使う場合があります。
- 高速道路優先：有料道路を優先したルートを選択します。
- 最短距離　：道路の大小に関わらず、目的地までの最短距離のルートを選択します。
- 複数ルート　：一般道路優先、高速道路優先、最短距離のルートを一度に表示します。
- ウォーキング：徒歩走行にあったルートを選択します。このとき音声ガイドは流れませんので、ご注意下さい。

⑤ ルートの種類を選択すると現在地から目的地までのルート検索が
始まります。

現在地が分かっていないときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、ナビに従って走行します。

ルート（水色）

ルートの距離と所要時間（あくまで目安とお考え下さい）

●ルートの距離と所要時間

走行速度を設定して計算し直す機能はありません。
道路の道幅・制限速度・交差点数などを考慮して、目安として計算していますので、実際とは異なる場合がございます。予めご了承下さい。

●ナビ走行の中止

ナビ走行中、左下の「現在地」ボタンが「ナビ中止」ボタンに変わります。これをタッチすることで、ナビ走行を中止することができます。

●クイックスタート

右下の「クイックスタート」ボタンをタッチすると、現在の地図の中心地が目的地に設定されて、ルート検索パネル画面が表示されます。

3-8. ルート検索

複数ルートとルート検索時の注意点について解説します。

●複数ルートについて

複数ルートを選ぶと、高速道路優先、一般道路優先、最短距離の３つのルートが合わせて表示します。
左上のボタンをタッチして、好みのルートを選んでください。ルートによっては、３つのルートが同じものになる場合もあります。

●ルート検索について

※ルート検索に失敗した場合は、現在地を表示できるか確認して下さい。
それでも失敗する場合は、目的地をずらして再度、ルート検索を行ってください。

※ナビ走行では、細街路はルート検索に含まれません。
目的地が細街路にある場合は、目的地から離れた場所でルート案内が終了しますので、その際は目的地方位線を目安に、目的地まで進んでください。

●ルート再検索（リルート）機能

ルートからある程度外れると、リルート検索を開始します。
ただし、車の速度やGPSの受信状況により、リルート検索に時間がかかることがあります。
また、右左折の方向案内が交錯することがありますので、ルートが安定してからの案内に従ってください。

3-9. デモ走行

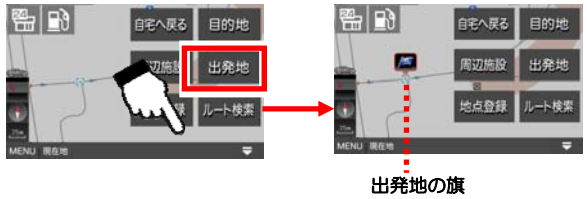
ナビ走行のテストを行うデモ走行の方法を解説します。

① 地図を移動して出発したい場所を中心にします。

ナビ走行のときは、出発地は自動的に現在地となりますが、デモ走行では、出発地も自由に設定することができます。

② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。

③「ナビ用パネル」の「出発地」ボタンをタッチします。



出発地として設定され、青い旗が立ちます。

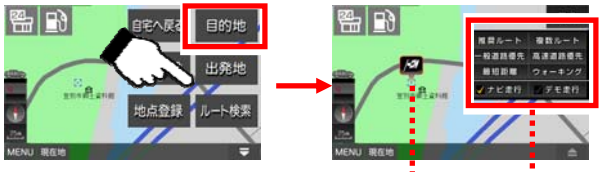
④ 続いて、地図を移動して行きたい場所を中心にします。

行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

⑤ 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。

ナビ用パネル

⑥「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



ゴールの旗　ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。

⑦ ルート検索パネルの「デモ走行」にタッチしてチェックを付けてルートの種類を選んでタッチします。

ルートの種類を選択

（注）目的地を設定済みならば、ナビ用パネル「ルート検索」ボタンをタッチすればルート検索パネル画面になります。

⑧ 出発地から目的地までのルート検索が始まります。

ルート検索には多少の時間がかかります。

（注）デモ走行で、ルート検索が失敗するときは、出発地と目的地の両方とも設定してあるか確認してください。

⑨ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、自動的にデモ走行が再生されます。

ルート（水色）　ルートの距離と所要時間（あくまで目安とお考え下さい）

3-10. ナビ走行中の画面

ナビ走行中の画面について解説します。

●ナビ走行中の画面の説明

（注）道路名は、走行中の道路名データが存在するときのみ表示が出ます。
主要道路であっても表示がない場合もあります。予めご了承ください。

●デモ走行中の操作ボタン

デモ走行のときのみ、左上に操作ボタンが表示されます。

早送りボタンをタッチすると、車の移動が5段階で変化します。
「1倍速→2倍速→3倍速→4倍速→5倍速→1倍速に戻る」

●出発地・目的地の旗の削除について

出発地と目的地の旗は、別の場所に設定するとそちらに移動します。また、ナビを終了させても出発地と目的地の旗は保存されます。
出発地と目的地の旗の削除は、「設定」の「初期化」にある「出発地／目的地を削除」で行うことができます。

●オービスについての注意点

本ナビにおけるオービス機能は、電波を検知して知らせるのではなく、地図のデータとして埋め込まれていて、それを案内しています。
よって、オービスが実際は存在するのに、案内が行われない場合や既に撤去されている場合もあります。
また、反対車線のオービスに反応して案内することもございます。
音声で、「制限速度に注意して～」と案内しますが、交差点の音声案内が優先されて、その音声が流れない場合もございます。予めご了承下さい。

●交差点案内

ナビ走行中、次の交差点までの距離と車線の情報が表示されます。
交差点付近では拡大地図と分岐案内が表示されます。
音声案内は、直前と300m、500m手前で行われます。
次の交差点までの距離枠と、地図上の右左折地点が黄色で点滅します。

設定モードの「基本設定」において、交差点案内を「矢印」にしている場合

右左折地点が黄色の円で点滅

●高速道路案内

ナビ走行中、高速道路を利用する場合は、分岐案内、施設案内が表示されます。
音声案内は、直前と300m、500m、1km、3km手前で行われます。
次の分岐地点・次の高速施設までの距離枠と、地図上の高速施設・分岐地点が黄色で点滅します。

3-11. 周辺施設検索

周辺施設の検索について解説します。

周辺施設のボタンをタッチすると、地図の中心から距離の近い順に10km圏内で500件までの施設を検索することが出来ます。

① 地図画面上で検索したい場所を中心にして「周辺施設」ボタンをタッチします。

② 検索画面からジャンルを選び、リストから施設名をタッチします。

③ 選んだ施設がある地図へ移動します。

※周辺施設データは、全てをカバーしているわけではありません。
目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

3-12. 地点登録

地点登録の方法について解説します。

地図の場所を記録しておくことが出来ます。記録しておけば、ナビメニューの登録地点から、その場所へすぐに移動することが可能になります。

① 登録したい場所を中心にして「地点登録」ボタンをタッチします。

② 登録画面のアイコンと名前を編集して、「登録」ボタンをタッチします。確認画面で「OK」ボタンをタッチします。

- アイコン変更用左右ボタンでお好みのアイコンを選ぶ。
- 文字種ボタンで文字の種類を選ぶ。
- 【削除】ボタン、文字ボタンを使用して文字を入力する。

アイコン変更用
左右送りボタン

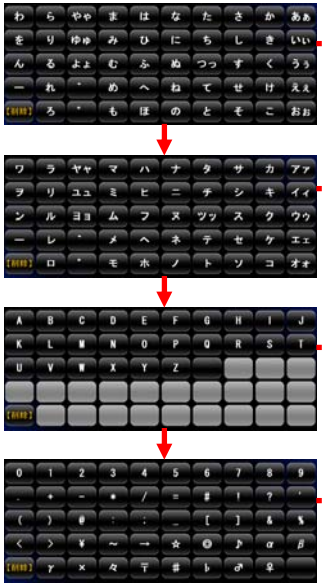
文字種変更

③ 登録が完了すると、地図に移動してアイコンと名前の吹き出しが地図に表示されます。

アイコンと吹き出し

●文字種の切り替えについて

地点登録の登録画面の下にある「文字種」ボタンをタッチするたびに、文字種が切り替わります。



ひらがな

カタカナ

アルファベット

数字、記号

（注）入力した文字を漢字に変換することは出来ません。

※入力パネルの使い方は「入力パネルの使い方」解説ページをご覧下さい。

※登録地点の確認や地図への移動、編集や削除については、ナビメニューの「登録地点」解説ページをご覧下さい。

3-13. 自宅の登録・自宅へ戻る

自宅へ戻る機能について解説します。

自宅を登録しておくと、すばやく自宅までのルート検索が行えます。
登録方法は地点登録と同じで、アイコンに自宅専用を選ぶだけです。

●自宅を登録する

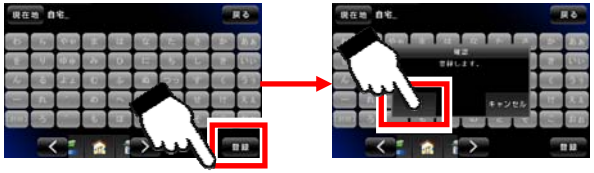
① 自宅の場所を中心にして画面の右にある[地点登録」ボタンをタッチします。

② 登録画面の下にあるアイコンをひとつ左に移動させて「赤い屋根の家」に変えます。

赤い屋根の家

※登録名は「自宅」に固定されて、入力パネルが無効になります。

③「登録」ボタンで確認画面を出し、「OK」ボタンをタッチします。



④ 登録が完了すると、地図に移動して、赤い屋根の家アイコンと「自宅」の吹き出しが地図に表示されます。

●自宅に戻る

①「ナビ用パネル」の「自宅へ戻る」ボタンをタッチします。

（注）自宅が登録されていないと、ルート検索に失敗します。

② 自宅で登録した場所が自動的に目的地になり、ルート検索パネルが表示されます。

●自宅の削除について

地点登録した自宅を削除することは出来ません。別の場所に設定すると、そちらに自宅が移動します。必ず地図上にひとつ存在することになります。

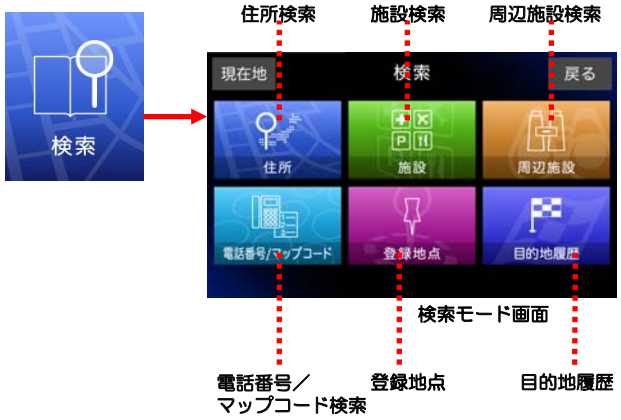
※ただし、設定画面で「出荷状態に戻す」を行うと、自宅も削除されます。

3-15. 検索モード

検索モードの機能について解説します。

●検索モードの画面

検索モードでは、以下の操作が行えます。
住所、施設、周辺施設、電話番号／マップコードの検索。登録地点と目的地履歴の一覧表示と編集。



各パネルとタッチすると、操作画面へ移動します。
「現在地」ボタンをタッチで地図画面、「戻る」ボタンをタッチでナビメニューへ移動します。

※「周辺施設検索」については、地図画面の「周辺施設検索」解説ページをご覧下さい。同じ機能になります。

3-15-1. 住所検索

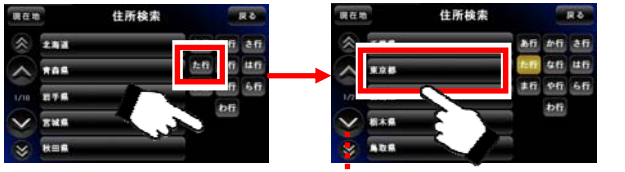
住所検索の方法について解説します。

住所検索は右の入力パネルをタッチしながら、
「都道府県→市区町村→町丁目→番地（号）」の順で絞り込みます。

① 検索モード画面の中の「住所」ボタンをタッチして、住所検索画面へ移動します。

例として、
「東京都八王子市元本郷町3-24-1」を検索します。

② 都道府県の「東京都（とうきょうと）」を探します。
入力パネルから「た行」をタッチすると、候補のリストが表示されます。
「リスト移動」ボタンでリストを移動して、「東京都」を探します。見つかったら、それをタッチします。

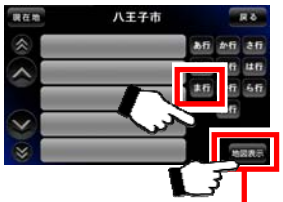


リスト移動
（端の「<<」「>>」で10ページ分移動）

③ 市区町村の「八王子市（はちおうじし）」を探します。
入力パネルから「は行」をタッチして「八王子市」を探します。見つかったら、それをタッチします。

④ 町丁目の「元本郷町（もとほんごうちょう）３丁目」を探します。

入力パネルから「ま行」をタッチして「元本郷町３丁目」を探します。見つかったら、それをタッチします。



住所入力の途中でも地図移動が可能ならば、右下に「地図表示」ボタンが現れます。
「地図表示」ボタンをタッチするとその場所の地図へ移動します。

⑤ 番地（号）の「 ２４－１」を入力します。

番地まで来ると入力パネルが数字に変わりますので、「２４－１」と順番にタッチしていきます。入力が終わり、「地図表示」ボタンをタッチすると、その住所の地図へ移動します。

吹き出し

※住所検索データは、全てをカバーしているわけではありません。
存在しない地域もございます。その場合「入力された住所が見つかりません。〇〇で地図を表示しますか？」と代わりの住所が提示されます。
予めご了承下さい。

3-15-2. 施設検索

施設検索の方法について解説します。

施設検索は入力パネルでキーワードを指定して検索します。検索結果は５０音順で表示されます。さらに、ジャンルで絞り込むことができます。

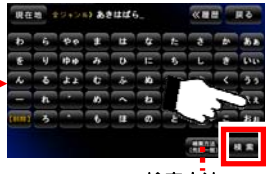
① 検索モード画面の中の「施設」ボタンをタッチして、施設名称検索画面へ移動します。

例として、「秋葉原駅」を検索します。

② 入力パネルに「あきはばら」と入力して、「検索」ボタンをタッチします。

履歴

入力パネル画面



検索方法

「<<履歴」ボタンから過去の検索履歴（最大５件）を表示できます。
検索方法を「先頭一致・部分一致」の２つから選べます。

③ 検索の結果から目的の場所をタッチすると、地図に移動します。

施設の詳細情報

吹き出し

※施設データは、全てをカバーしているわけではありません。
目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

施設検索の方法（ジャンルで絞り込む）について解説します。

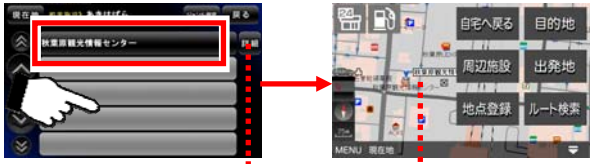
例として、「秋葉原駅」をジャンル「交通機関・道路施設」で絞り込んで検索します。

① 入力パネルに「あきはばら」と入力して、「検索」ボタンをタッチします。

入力パネル画面

② 「ジャンル指定」ボタンをタッチして、「交通機関・道路施設」をタッチします。

③ 検索結果が「交通機関・道路施設」で絞り込まれます。目的の場所をタッチすると、地図に移動します。



施設の詳細情報　　吹き出し

3-15-3. 電話番号／マップコード検索

電話番号とマップコードによる検索の方法について解説します。

電話番号とマップコード検索は入力パネルから電話番号、マップコードを入力して検索します。

① 検索モード画面の中の「電話番号／マップコード」ボタンをタッチします。さらに、電話番号とマップコードどちらかのボタンをタッチします。

電話番号　　マップコード

電話番号／マップコード検索画面

② 入力パネルから電話番号検索なら電話番号を、マップコード検索ならマップコードを入力して、「検索」ボタンをタッチします。

電話番号とマップコードどちらでも入力するデータが異なるだけで、検索方法は同じです。

※電話番号は、ハイフンを付けても付けなくても検索ができます。

※個人情報保護の観点から、個人宅の電話番号検索は出来ません。

③ 検索の結果、該当するデータがあれば「地図表示」ボタンをタッチして地図に移動します。

※電話番号データは、全てをカバーしているわけではありません。
目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

●マップコードに関して

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。
簡単な数字のコードで、緯度経度を表現することが出来る技術です。

詳しくは、下記WEBサイトをご覧下さい。
http://www.e-mapcode.com/

また、マップコードについてのお問い合わせには対応しかねますので、ご了承下さい。

3-15-4. 登録地点

地図画面で地点登録した内容を確認、編集する方法について解説します。

●登録地点の地図へ移動する

①「検索モード」の中の「登録地点」ボタンをタッチして、登録地点画面へ移動します。

② 目的の登録地点のアイコンを右のパネルから選び、タッチします。

③ そのアイコンで登録されている地点がリストに表示されます。
その中から目的の登録地点をタッチすると、それがある地図へ移動します。

※ 同じ吹き出しが2個重なるのは、検索結果による吹き出しと、地点登録に保存された吹き出しが同じためです。登録地点からの地図表示は必ずこうなります。

※ 右下の「target」と書いてある緑色の旗のアイコンには、最初からいくつかの地点が登録してあります。

●登録地点を削除する

① 登録地点画面の中で削除したい登録地点の横にある「編集」ボタンをタッチします。

登録地点画面

② 編集画面の左下にある「削除」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。

編集画面　　確認画面

③ 登録地点画面に戻り、削除が完了します。

登録地点画面

●登録地点の名前を変更する

① 登録地点の画面の中で変更したい登録地点の横にある「編集」ボタンをタッチします。

登録地点画面

② 編集画面の入力パネルを操作して名前を変更します。

編集画面

※入力パネルの使い方は「入力パネルの使い方」解説ページをご覧下さい。

③ 変更が完了したら「登録」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。

確認画面

④ 登録地点画面に戻り、変更が完了します。

3-15-5. 目的地履歴

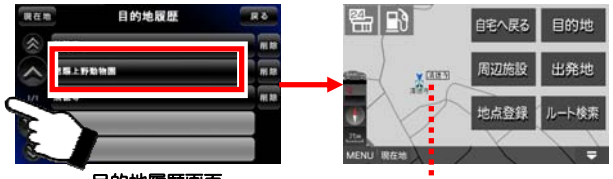
目的地履歴について解説します。

目的地履歴は、ルート検索で目的地として使用された場所（吹き出しが表示されている状態で目的地に設定した場所のみ）が、保存されています。

●目的地履歴から地図へ移動する

①「検索モード」の中の「目的地履歴」ボタンをタッチして目的地履歴画面へ移動します。

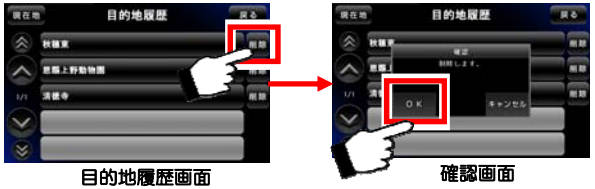
② 目的地履歴として保存されているリストに表示されます。
その中からタッチすると、それがある地図へ移動します。



目的地履歴画面　　吹き出し

●目的地履歴を削除する

① 削除したい目的地履歴の横にある「削除」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。



目的地履歴画面　　確認画面

※目的地履歴に保存されるのは、検索などにより吹き出しが表示されている状態の場所を目的地として登録したものだけです。

3-16. おでかけモード

おでかけモードの機能について解説します。

おでかけモードは、車の運転中によく立ち寄るであろうショッピング・グルメ・観光・娯楽・スポーツといったスポットが集められています。

① ナビメニュー画面の「おでかけ」ボタンをタッチすると「おでかけモード」の画面が表示されます。

おでかけボタン

例として、「浅草花やしき」の地図に移動します。

② スポット選択画面（おでかけモード画面）で「観光・娯楽」を選びその中のリストから「遊園地」をタッチします。

スポット選択画面

③ 地域選択画面で地域を絞り込みます。
「た行」から東京、「た行」から台東区と選んでいきます。

地域選択画面

※東京を選ぶと、右上に「確定」ボタンが現れます。この段階で「確定」ボタンをタッチすると、東京にある遊園地が検索対象となります。

④ 絞り込みが終わるか、途中で「確定」ボタンをタッチすると、検索結果のリストが表示されます。

リストの名前をタッチすると、
⑥の地図表示へ

⑤ 目的のスポットの横にある「詳細」ボタンをタッチすると、そのスポットの詳細情報画面に移動します。

詳細情報画面

⑥ 詳細情報画面の右下にある「地図表示」ボタンをタッチすると、そのスポットの地図へ移動します。

詳細情報画面　　吹き出し

※スポットデータは、全てをカバーしているわけではありません。
　目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

3-17. 設定

ナビの設定について解説します。
ナビメニュー画面の「設定」ボタンをタッチすると「基本設定」画面が表示されます。

設定ボタン

●基本設定

「基本設定」の中で有効にしたい設定をタッチして、チェックを付けます。

基本設定画面（1ページ）

基本設定画面（2ページ）

※「地図色自動」を自動にすると、時刻によって地図色を自動的に切り替えます。地図色を昼に固定する場合は、「地図色」を昼、「地図色自動」を手動に設定します。

●アプローチチャイム設定

登録地点や目的地をターゲットに選んで、距離を設定しておくと、現在地がその範囲に入ったとき、チャイムでお知らせします。

①「設定地」ボタンをタッチします。ターゲットにしたい登録地点を選び、タッチして上部の「設定地»」に表示させます。表示されたら「戻る」ボタンをタッチして戻ります。

アプローチチャイム設定画面（3ページ）　ターゲット選択画面　解除

ターゲットの解除は、「ターゲット選択画面」で右下の「解除」ボタンをタッチします。「設定地»」のところが空白になります。

② チャイム設定１、２の距離のところをタッチして、チャイムを鳴らす距離を設定します。

距離を「10km」に指定している場合、ターゲットに対して10km、9km、8kmと近付いた時に、3段階でチャイムを鳴らします。

アプローチチャイム設定をしてナビ走行を行うと、自車からターゲットまで青い点線が引かれます。
また、右下にターゲットまでの距離を一定間隔で表示します。

ターゲットまでの距離を一定間隔で表示

③ 目的地をアプローチチャイムのターゲットに含める

アプローチチャイム設定画面の右下にある「目的地」ボタンをタッチして有効にすると、目的地に設定している地点もターゲットになります。

目的地のターゲット設定

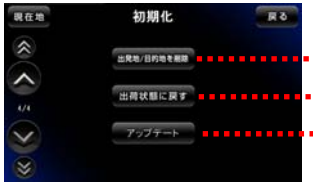
目的地　OFF時（背景が黒色）

目的地　ON時（背景が黄色）

アプローチチャイム設定画面（3ページ）

目的地のターゲット解除は、「目的地」ボタンをもう1度タッチします。
タッチする毎に、ターゲット設定のオン、オフが切り替わります。

●初期化



初期化画面（4ページ）

「出発地／目的地を削除」を行うと、出発地の旗・目的地の旗を削除します。

「出荷状態に戻す」を行うと、出発地の旗・目的地の旗、登録地点（自宅含む）や目的地履歴が削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。

「アップデート」は、現時点で使用することはありません。
バージョンアップが可能になった段階で使用するボタンです。
バージョンアップの状況や操作方法については、サポート用ホームページでお知らせできる段階になりましたら案内します。

3-18. 入力パネルの使い方

入力パネルの使用方法について解説します。

●入力パネル

ナビメニューから施設検索でキーワードを入力したり、登録地点の登録名を編集したりする場合は、この入力パネルをタッチして行います。

文字の削除は、左下にある黄色の「【削除】」をタッチします。

小さい「ゅ」は、「ゆ」をすばやく2回タッチします。

濁音の「が」は、「か」をタッチした後、「゛」をタッチします。

文字をタッチすると、上部に吹き出しが表示されます。

（注）入力した文字を漢字に変換することは出来ません。

3-19. ウォーキングナビ

ウォーキングナビについて解説します。設定の手順は、ナビ走行（デモ走行）と全く一緒です。

① 地図を移動して行きたい場所を中心にします。

行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。

③「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。

④ ルート検索パネルの「ナビ走行」にタッチしてチェックを付けて
ルートの種類ににある「ウォーキング」をタッチします。

⑤ 現在地から目的地までのルート検索が始まります。

現在地が分かっていないときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地
が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。
あとは、ナビに従って走行します。

※ 現在地から目的地まで直線が引かれるので、目的地の方向が視覚的に
分かり、大変便利です。

●ウォーキングナビの注意点

※「ウォーキング」を選んだ場合、徒歩走行に合ったルートになります。

※ ナビ中に音声案内は流れません。また、車両による道路交通規制の
表示もされません。ご注意ください。

※ あくまでも歩行の目安として、実際の道路規制に従って、歩行して
ください。

※ ナビ画面をご覧になる際やナビ操作をするときは必ず立ち止り周囲の
安全を確認してから行ってください。

※ ウォーキングモードは、自転車に使用できません。また、自転車専用
道路地図は搭載しておりません。

3-20. よくある質問

Q、現在地が表示されません。

現在地はGPSを受信して表示しますが、数分程度かかる場合もあります。
GPSの電波が上手く受信出来ていない可能性もございますので、衛星配置図を確認して、受信状態の良い場所へ移動する等してみて下さい。

Q、ルート検索に失敗します。

ルート検索に失敗する場合は、出発地と目的地をずらす等して再度、検索してみて下さい。また、実際のナビ走行では、出発地はGPSから受信した現在地になりますので、GPSの受信状態を確認してみて下さい。

Q、ルート検索の結果がいつも通っているルートと違います。

ルートはナビソフトが計算した結果を表示しています。ルートによってはどうしてもお客様が望まれる結果にならない場合もございます。 3種類あるルートの計算方法を変える等してみて下さい。
結果のルートを変更する事は出来ませんので、予めご了承下さい。

Q、自車とナビとの位置と進行方向が違うときがあります。

GPSのアンテナの性能や受信状態によって、位置にずれが生じたり、進行方向が安定しない場合がございます。予めご了承下さい。

Q、検索しようとしても目的の場所が出てきません。

検索のデータが全てをカバーしていませんので、お客様が探している目的の場所が表示されない場合がございます。
その場合お手数でございますが、近くの場所の地図を検索してから地図上をタッチして目的の場所へ移動する等して下さいますようお願い申し上げます。

Q、音声が流れません。

ナビメニューの左下が「音声ON」の表示でボリュームがゼロでないことと、本体の音声がミュート状態（無音）になっていないか、このふたつを確認して下さい。

Q、検索したルートに違和感がある。

ナビのルート計算は使用する道路の規模や施設などを参考になるべく違和感の無いように本線優先でのルート案内を判断する様に作成しておりますが、例えば現在走行中の道路に対し側道に案内をして再度現在走行中の道路に戻されるルートを引く場合など実際の走行経験から考えますと違和感があるルートになる場合があります。

4. 制限事項

本製品には、以下の制限事項があります。

①本製品は、ＧＰＳの測位によりナビゲーションを行っています。従って、ＧＰＳの測位が出来ない場所（室内や電波の入りずらい屋外等）では利用できません。

②ＧＰＳの受信状況により車両の位置が地図に描かれた道路上に正しくのらない場合があります。

③特にルートを設定しないフリー走行の場合、道路からはみだしたり、実際とは異なる道路上を走行する場合があります。

④ルート案内はあくまでも目安であり、日時規制を考慮しています。ただし、車種は考慮していません。

⑤目的地までの距離、所要時間、到着予定時刻は、あくまで目安としてご利用ください。

⑥フェリーを使ったルート案内は行っていません。

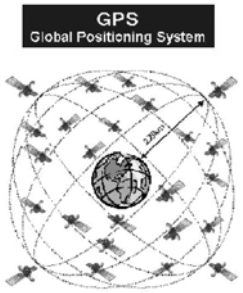
⑦細街路もルート検索の対象です。ただし、細街路の整備状況は地図データによるため、ルート検索の対象外となる細街路もあります。

⑧自動リルートが行われるタイミングは状況により異なります。ルートから離れた距離によって一律に行われるわけではありません。

⑨一般道優先でルートを引いた場合、一般道を優先しますが、必ずしも一般道だけでルートを引くわけではありません。

⑩本機のルート案内において、時間規制表示等の交通ルールが定められている場所では、そこでの交通ルール表示に従って走行してください。

5. GPSの基礎知識



【GPS】Global Positioning System
人工衛星を使った全地球測位システム。
宇宙部分（6つの異なる軌道に24の衛星NAVSTAR）、制御部分（5つのモニター局、1つの主制御局、3つのアップロード局）、ユーザー部分（GPS受信機）で構成されている。

【NAVSTAR】 NAVigation satellite Timing And Rangin

GPS衛星に付けられた名前。NAVSTAR衛星は、軌道高度約20.000km、周回周期0.5恒星日（約11時間58分）、6枚の軌道面に4個ずつ合計24個の衛星で全システムを構成し、複数のセシウムおよびルビジウム原始時計を搭載している。

【アルマナックデータ】Almanac Data

利用可能な全衛星の概略の軌道周回情報で、1度取得すれば、1週間程度利用できる。

【エフェメリスデータ】Ephemeris Data

現在位置を担当する観測衛星の詳細な軌道周回情報で1度取得すれば、1時間程度利用できる。エフェメリス・データを利用して衛星の位置を求め、現在位置を計算する。

【ホットスタート】Hot Start

エフェメリスデータ、マルナマックデータ、時刻データ、前回測位データが有効な状態で測位を開始すること。

【ウォームスタート】Warm Start

詳細な軌道データはないが前回測位時の衛星捕捉に関するデータを利用して、衛星の捕捉を開始することで衛星の捕捉時間を短縮できます。

【コールドスタート】Cold Start

前回の測位から1ヵ月以上過ぎている場合や、前回の測位地点から500km以上離れた場合でGPSを行うときは、新しく衛星軌道情報を収得して初期状態から測位を開始すること。

6. お問い合わせ先

※電話番号の掛け間違いの無いように十分ご注意ねがいます。

発 売 元

機器に関する問い合わせ

カスタマーサービス

E-MAIL ：Info@kaihou.com

TEL ：042-631-5357

FAX ：042-631-5359

営業時間 ：平日10：00～17：00（土日祝祭日は休み）

ナビソフトの操作方法

ソフトに関する問い合わせ

サポートページ ：http://www.mapnet.co.jp/kaihou

E-MAIL ：mapque@mapnet.co.jp

TEL ：03-3516-6080

FAX ：03-3516-6387

営業時間 ：平日10：00～17：00（土日祝祭日は休み）

**※地図内容、ナビモード時の動作に関しては、
こちらへお問い合わせください。**

ROOM MATE

商品の修理、検査依頼、万が一の初期不良、不具合、商品説明、操作方法、 荷物確認などの問題が発生した場合は下記番号へ

サポートセンター

サポートダイヤル: 042−631−5357

FAX: 042−631−5359

住所: 〒192−0906　東京都八王子市北野町598−11

営業時間: 平日10:00〜17:00(土日祝祭日は休み)

電話集中している場合は、通話が繋がりにくい、繋がらない場合もございます。 再度お時間をおいておかけ直しくださいますようお願い致します。

EB-RM4700N　バージョン1（2015年6月）